
外国雑誌を取り巻く現状と今後の動向 ～2017年へ向けて～

株式会社 紀伊國屋書店
学術情報販売促進本部 学術情報商品部

川村俊之

2016年7月1日

★外国雑誌を取り巻く環境①

シリアルズ・クライシス

■ 購読価格の値上り

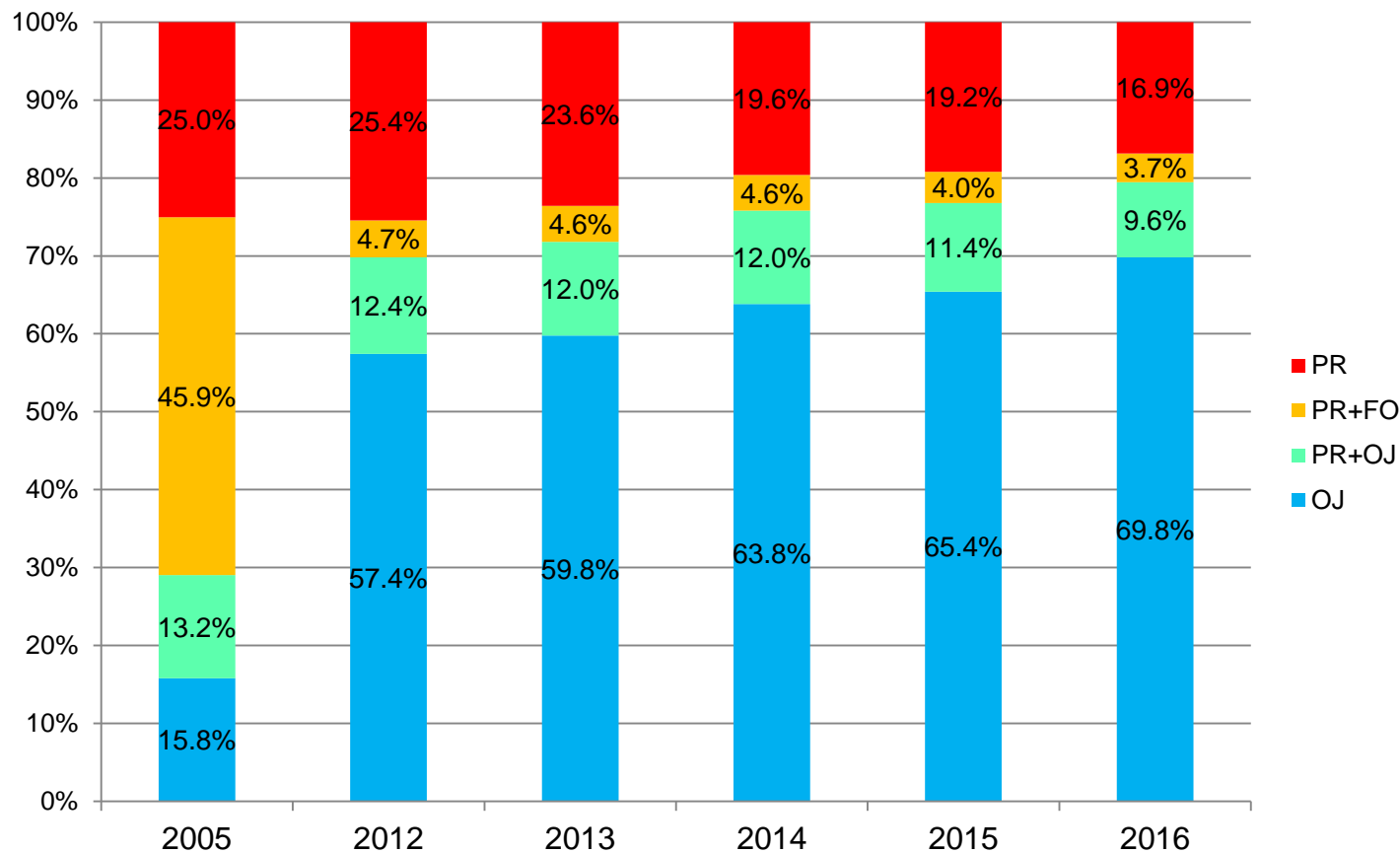
- (原因)
- ・投稿論文の増加・・・新興国 査読
 - ・優秀な研究者、研究論文の収集
 - ・電子ジャーナル化及び関連投資
 - ・購読部数減
 - ・買収、合併等の経費

■ 世界不況

■ 顧客の予算減

★外国雑誌を取り巻く環境②

電子化の進展



★外国雑誌をとりまく環境③

- 代理店数： 20年で大幅に減少
国内代理店も多くが退場

現在の代理店に求められる能力

- 資金力
- サポート力
- 提案力
- 交渉力

★出版社／ベンダーの最新状況

- Springer Natureの誕生
- Big 5の寡占化の進行
- EBSCO/ProQuestによる事業買収
- プラットフォームベンダーの統合

★最近の動向①

- オープンアクセス
- オープンアクセス・メガジャーナル
- オープンアクセスの義務化
 - UKの事例
 - USの事例
- アムステルダム会議

★最近の動向②

日本におけるオープンアクセス

- 文部科学省
- 内閣府
- オープンアクセス方針の策定
 - 補助金を出す側
 - 補助金を受ける側(国立大・私立大・大学共同利用機関)

★最近の動向③

- 論文単位販売
- 文献複写(著作権処理)
- 論文レンタル
- 研究プロセスとの融合
- ソーシャルネットワーク
- モバイル対応
- シボレス認証

★消費税問題

- 不課税対応
 - 予算への影響
- 国境を越えた役務の提供に係る消費税の課税の見直し
- B to C方式扱いの事例